

子育てサポート認定

労働局 紀陽情報システムに

和歌山

仕事と子育ての両立を推進する環境整備の取り組みが評価され、紀陽情報システム（和歌山市中之島、阪本彰央社長）は、和歌山労働局より、次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」に認定された。県内の認定企業は14社目、情報サービス業では初めて。

月々26年3月の期間、毎月2回のノー残業デーの徹底▽子どもの出産休暇の父親への取得推進――を目標に掲げ、行動

計画を策定。「本日はNO残業デー」と書いたタペストリーを掲げるなどして徹底を図った他、出産休暇は計画期間内に男性4人が取得し、目標を達成した。

認定により、求人広告や名刺、商品などに次世代認定マーク「くるみん」が使用でき、子育て応援企業のイメージアップ効果が図れる。

阪本社長（61）は

「企業は人材そのものが資産。企業が成長するためには優秀な人材を確保し、育てていかなければならない。そのためには働きやすい環境づくりが大切。今後も努力していきたい」と話していた。



通知書を受け取る阪本社長

16日、和歌山市黒田の同局で認定書の交付式が行われ、樫葉伸一局長から通知書が手渡された。

同社は平成23年5